

令和6年能登半島地震 応援復旧活動

1. 富山県管工事業協同組合連合会のうごき

1月1日16時10分頃 能登半島地震発生

石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生。富山県内では富山、高岡、射水、氷見、小矢部、南砺、舟橋の6市1村で震度5強を記録。氷見市、富山市、高岡市、射水市、小矢部市で断水が発生。

【断水状況】1月4日時点で、富山県内の約19,900戸が断水。

- ・高岡市、氷見市は断水未解消。
- ・富山市内は1月2日に復旧済。
- ・小矢部市、射水市はおおむね復旧済。



地震発生時の県連事務所内の様子

1月10日 氷見市応急復旧応援へ

氷見市より県管連あてに 氷見市内公的施設（小中学校等）二次側復旧応援の要請あり。富山市管工事協同組合、砺波管工事業協同組合で復旧対応。1月11日～25日の間、14 箇所の公的施設の応急復旧へ出動した。



1月11日 能登半島地震災害緊急自主点検を実施

富山県より県有施設の自主点検の要請あり。「県有施設の災害時における応急措置等業務に関する協定」に基づき、被害の大きい県西部を中心に自主点検を実施。

組 合	点 検 数	破 損
富 山	21	5
高 岡	4	3
小 矢 部	1	1
砺 波	8	2
魚 津	7	0
立 山	1	0

1月11日 藤川会長、被災地を視察

石川県管連へ災害見舞金の進呈。



令和6年1月22日 建設工業新聞

1月25日 石川県七尾市への応急復旧に向けて、先遣隊を派遣

富山市管工事協同組合（2名）、砺波管工事業協同組合（2名）、南砺市管工事業協同組合（2名）が先遣隊として状況把握のために現地へ。

2月1日～ 日水協富山県支部からの要請により応急復旧を実施

1月31日、富山市管工事協同組合会館にて「七尾市への応急復旧に向けての合同会議」を開催。今回の地震で被害を受けている水道配水管等の破損調査及び応急復旧工事に向けた調整が行われた。この派遣は「災害時における水道施設の復旧応援に関する協定書」に基づくものである。



七尾市への応援復旧に向けての合同会議



各事業者での協議

2月5日、富山市管工事協同組合、高岡市管工事業協同組合より第1班が出動。

2月8日、南砺市管工事業協同組合、砺波管工事業協同組合、滑川市管工事協同組合、立山町管工事協同組合より第1班が出動。



砺波管工事業協同組合 出発式



漏水修繕



漏水修繕



石綿管除去

2月14日、高岡市管工事業協同組合活動終了。

3月29日、南砺市管工事業協同組合、砺波管工事業協同組合、滑川市管工事協同組合、立山町管工事協同組合活動終了。

3月31日、富山市管工事協同組合、七尾市街及び和倉温泉地区の復旧作業を終了し、能登町の支援へ。

5月15日、富山市管工事協同組合、活動終了。

組合	派遣場所	期間	班・人数
富山市管工事(協)	七尾市	2/5~29	2班・12名
		3/1~30	1班・6名
	能登町	3/31~5/15	1班・6名
高岡市管工事業(協)	七尾市	2/5~14	1班・6名
南砺市管工事業(協) 砺波管工事業(協) 滑川市管工事(協) 立山町管工事(協)	七尾市	2/8~3/29	1班・6名



能登町の宿泊所

5月28日 石川県管連より珠洲市仮水栓設置工事の協力要請

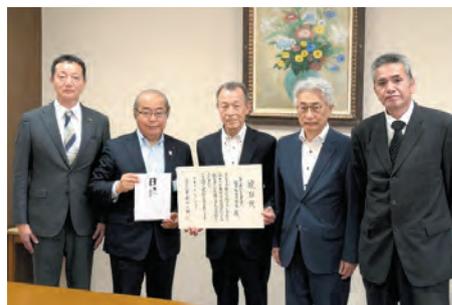
石川県管連より珠洲市での仮水栓設置工事への協力依頼あり。

【仮水栓設置工事とは】

水道本管が復旧した後も、宅内で漏水しており、工事業者に修理を依頼しても順番待ちで水道が使えないお宅に、修理が終わるまで自宅の敷地内に仮水栓を設置する工事。

6月24日～ 富山県へ義援金の贈呈

県庁にて義援金贈呈式が行われ、藤川会長、柴田副会長、近藤副会長、安居常務理事が出席。



2. 氷見管工事業協同組合のうごき

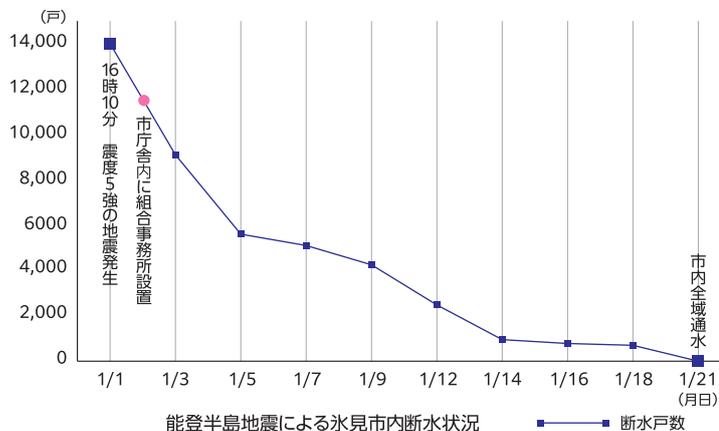
富山県内では最も被害が大きかった氷見市。激しい揺れの影響で市内中心部の主要幹線が分断され、枝線の破損等もあり各所で漏水が発生。管路の流量の異常を検知した市内南部の浄水場の緊急遮断弁が作動したことで、市内全域（14,000戸）が断水。氷見管工事業協同組合は氷見市との応援協定に基づき、市内4カ所での給水活動を行った。

さらに、漏水調査の要請をうけ、翌2日には氷見市と迅速な情報共有をはかるために市庁舎内に組合事務所が設置され、漏水調査に係るミーティングを開始した。漏水箇所が多いこと、水道管の老朽化、漏水箇所を確実に特定できないことから工事は難航。組合員は被災者でもあったが、市内全域の水道復旧を最優先に、休日・昼夜を問わず、幹線工事・宅内工事に全力を尽くすとともに、継続的な給水活動を行い、市民に水を届けた。

市内南部から順次、復旧が進み、1月21日には市内全域が通水した。被害は甚大だったが、日頃から組合員間の強い連携、氷見市や富山県管連などの関係機関との協力体制が確立されていたことが早期復旧に繋がった。



氷見市内の被害状況



能登半島地震による氷見市内断水状況

3.高岡市管工事業協同組合のうごき

高岡市との「災害時による応急活動の協力に関する協定」に基づき、発災直後から公道での応急復旧工事や住宅・工場等の建物の配管設備の修理を行った。(工事箇所:90ヶ所、延べ人工数:370人工)また、2月5日からは日本水道協会中部地方支部からの要請に応じて、高岡市上下水道局職員と共に石川県七尾市へ出動し、水道配水管等の応急復旧支援活動を実施した。

高岡市では、令和6年3月に「高岡市震災復興計画」が策定され、被災した道路や上下水道など公共インフラの早期復旧及び防災・減災を意識した取組の実施が掲げられており、今後本格的な上下水道復旧工事が行われる予定である。



4.射水市管工事業協同組合のうごき

地震発生直後、射水市では市民より漏水通報が多数寄せられた。基幹管路の被害は無かったが、配水枝管での漏水が原因による局所的な断水が210戸発生した。射水市管工事業協同組合は射水市からの要請を受け、1月2日から漏水修繕作業を開始し、1月3日までに14箇所の修繕を終えた。210戸の断水は解消し、1月10日まで延べ18社、28箇所の漏水修繕を行った。



港町での配水管漏水修繕

片口久々江での給水管漏水修繕

5.小矢部市管工事業協同組合のうごき

地震発生直後、小矢部市では市民から漏水に関する通報が相次ぎ、基幹管路には被害がなかったものの、配水枝管の漏水により市内525戸で断水が発生した。小矢部市管工事業協同組合は市の要請を受け、1月2日から漏水修理作業を開始し、1月9日までに7地区の修繕を完了。1月10日までの間、延べ200人が作業にあたった。



小矢部市内の応急復旧作業